

波町議会定例会一般質問通告書（写）

令和5年定例会6月会議

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[1] 1番 高橋 敬子</p>	<p>○財政運営をめぐる問題について 町では、公民連携により様々な事業を進める一方で、国からの交付金に大きく依存する財政運営を行っており、その弊害も生じている。財政運営と自主財源の確保についての具体策を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍の影響が残る中、歳入の確保、自主財源の確保をどのように考えているか。また、歳出の削減についての考えを伺う。さらに、交付金に大きく依存している状態に対する見解を伺う。 2 多くの事業で民間への委託は進んでいるが、その管理はどのようにされているのか。公金を有効活用するために、成果や経費についてのチェックに専門家の意見を入れてはどうか。管理においても、第三者である民間からの協力を要請すべきではないか。 3 若者の移住と起業をさらに推進し、雇用を創出すべきと考えるが、現状と課題、今後の方針を伺う。 	<p>町長 代表監査委員</p>
	<p>○みくまるっと脱炭素化モデル事業について 2030年までに脱炭素化を進める先行地域に紫波町が選定された。モデル事業について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 選定に当たっては、どのような点が評価されたのか。 2 民間との共同提案における強みは何か。 3 電力の地産地消とはどのようなことか。 4 今後のスケジュールはどのようにになっているか。 	<p>町長</p>
	<p>○新型コロナワクチンの接種について 5月から新型コロナワクチンの接種が始まっている。国内では、平年の死亡者を上回る「超過死亡数」の増加が2022年に見られ、2023年に入ってからさらにはさらに増加しており、コロナワクチン接種との関連が疑われている。コロナワクチンについては、インフルエンザワクチンなどと比較し副反応が重く、接種後の死亡者が多いという状況で、このワクチンをどのように評価しているのか。町としての見解を伺う。</p>	<p>町長</p>

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[2] 5番 戸塚 美穂</p>	<p>○人口減少対策について</p> <p>厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は、50年後の日本の将来推計人口を、2070年に8700万人になり、2020年時点の1億2615万人の7割を切ると公表した。以前から人口減少の対策が急務とされ、1994年、少子化の一層の進行などに対応するため「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について（エンゼルプラン）」が策定され少子化対策が推進されてきた。しかし、2022年に生まれた子どもの数が80万人を下回り、過去最少を更新したことを踏まえ2024年度から3年間で集中して取り組む政策「こども・子育て支援加速化プラン」として推進する「異次元の少子化対策」のたたき台を発表した。</p> <p>そこで、当町における状況について以下3点質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口推移（年齢3区分人口）、合計特殊出生率推移について伺う。 2 人口減少における課題をどのように捉えているのか。 3 人口減少対策における重点施策に掲げる子育て支援について伺う。 	町長
	<p>○地域共生社会について</p> <p>少子高齢化、家族形態の変化などに伴う様々な諸課題に対し、世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現が期待されている。地域包括ケアの理念を普遍化し、高齢者のみならず、生活上の困難を抱える障がい者や子どもなどが地域において自立した生活を送ることができるよう、地域住民による支え合いと公的支援が連動し、地域を『丸ごと』支える包括的な支援体制を構築し、切れ目のない支援が求められているが、当町の取り組みと展望について伺う。</p>	町長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[3] 16番 細川 恵一</p>	<p>○国保問題について</p> <p>1 岩手県の第2期国民健康保険運営方針は令和5年度までとなっている。国保の構造的な問題として、被保険者が年金生活や無職の加入者が多く、国保税の負担が大きいものと捉えている。町として国保加入者の実態をどのように把握しているか。</p> <p>2 第2期の国保運営方針では、保険税水準の統一に向けた方針が示されている。統一保険税になることは、国保税の値上げにつながると考えるが、町の見解を伺う。</p> <p>3 国保に加入している世帯の人数で賦課されている均等割は、人数が多いほど負担が大きくなっている。令和4年度より未就学児を対象に均等割を5割軽減とする制度改正が行われた。全国的に子どもの均等割減免の年齢引き上げが広がっている。町としての考えを伺う。</p>	町長
	<p>○マイナンバーカード問題について</p> <p>健康保険証と一体化したマイナンバーカードで、行政機関に証明書発行を申請したところ、別人の情報がひも付けされているなどのトラブルが7,000件以上、相次いで発覚している。個人情報漏えいさせないという最低限の安全性が確保されていなかったと捉えている。個人情報保護が重要な時期にマイナンバーカードの発行に当たって、個人情報の入力等に問題があったのではないかと考える。このことについて、町としての対策と見解を伺う。</p>	町長
	<p>○農業問題について</p> <p>1 国民の命の源となる食料と、それを生み出す農畜産業が未曾有の危機に直面している。食料品価格が軒並み高騰し町民の生活を圧迫すると同時に、生産資材などの高騰により、町の農畜産業経営が大変厳しい状況にあると捉えている。このような中で、経営への抜本的な生産コストの急騰に見合う補填が必要ではないかと考える。町としての見解と国、県、関係機関等への要望などはどのように進められているか伺う。</p> <p>2 人や環境に優しい農業の実現と価格保障や所得補償で農家が安心して農畜産物の増産に励めるようにするために、生産者と消費者、加工・流通など町と連携した体制で進める必要があると考える。具体的に伺う。</p>	町長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[4] 11番 及川 ひとみ</p>	<p>○みくまるっと脱炭素化モデル事業について 脱炭素先行地域に町のモデル事業が採択された。農業振興、戸建て住宅、民間・公共施設の改修など5年をかけての事業となる。町民の協力が欠かせないものであり、安全性や周囲の環境なども考察しなければならないと考える。以下、モデル事業について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 先行地域では、太陽光発電設備、省エネ設備の改修などを行う際に交付金が交付されるが、他の地域に対しての脱炭素の支援を考えているか。 2 住民に対しての事業の周知、説明会などについて考えを伺う。 3 バイオガス発電により、生ごみの収集が拡大されるが、体制など取り組みについて伺う。また、経費について伺う。 4 バイオガス発電設置場所の臭気や生ごみの運搬車両の増加など、新たな環境課題についての考えを伺う。 	町長
	<p>○ひきこもりの支援について 内閣府は令和4年度にこども・若者の意識と生活に関する調査を行った。ひきこもりの人が推計で146万人であり、50人に1人がひきこもり状態であるとの結果だった。町では、ひきこもりについて、実態を把握しているか。また、相談体制、支援など取り組みについて伺う。</p>	町長
	<p>○教育環境の充実について 児童生徒が良い環境の中で安全に安心して学校生活を過ごせるようにと町民は願っている。その課題は、多岐にわたるが、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭では、ほとんどが洋式トイレになっている状況である。小中学校のトイレは、一部洋式となっていないが、改修についての考えはあるか。 2 学校によっては、女子トイレが混み合う状況があると聞く。増設など、トイレに不安がないようにすべきと思うが、考えを伺う。 3 学校給食は、教育の一環と捉えられている。また、農業振興にも関わり、大きな役割を持っている。コロナ禍においては、地方創生臨時交付金で給食費の補助などに活用した自治体もある。矢巾町でも一部補助が始まっているが、給食費の補助、無償化は子育て支援の一つともいえる。なぜ、取り組めないか。 	教育長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[5] 17番 藤原 恵子</p>	<p>○帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成について</p> <p>帯状疱疹は、多くの方が子供のときに感染する水ぼうそうのウイルスが治った後も体内の神経節に潜んでいて、加齢、疲労、ストレスなどで免疫力が低下すると再び活性化して発症する。</p> <p>発症率は50歳代に急激に増加し、70歳以上でピークを迎え、80歳までに約3人に1人が発症すると言われている。</p> <p>また、帯状疱疹が現れる部位により、顔面神経麻痺・目の障害・難聴・耳鳴り・眩暈などの重い後遺症が出ることもある。</p> <p>現在、2種類のワクチンが薬事承認されているが、任意接種のため全て自己負担となっている。</p> <p>近年、高額なワクチン接種費用に対し、公的補助を実施している自治体も増えてきている。</p> <p>以下3点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 帯状疱疹ワクチンの効果をどのように捉えているか伺う。 2 当町の周知方法と接種の推進はされているのか伺う。 3 県内でも2市町が今年度から、予防接種の助成制度を取り入れているようである。当町でも、町民を守るために、助成制度を新設すべきと思うが伺う。 	町長
	<p>○せせらぎ公衆トイレの改修について</p> <p>紫波町の顔であり、日詰商店街の顔である「せせらぎ公衆トイレ」は、ご利用いただく町内外の方々へ、町の真心でおもてなしの第一歩でありたいものである。改修工事のこれからの計画や費用等の取り組みについての町の考えを伺う。</p>	町長